

令和 5 年 度
市民との協働によるまちづくり提案事業
成果報告会・情報交換会



令和 6 年 7 月 13 日(土)
おりなす八女 はちひめホール

成果報告会・情報交換会次第

日時：令和6年7月13日 13:30～

場所：おりなす八女 はちひめホール

1. 開会

2. 主催者あいさつ

3. 成果報告



カラー版の
ダウンロード
はこちら▲

4. まとめ

5. 情報交換会

6. 閉会



アンケートはこちら▲

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業

	団体名	事業名	ページ
①	おちゃねこ八女	幸せねこプロジェクト	1
②	ミニバラ八女津媛の会	ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト	9
③	資源を活かして原料から 作ってみる会	八女の土で器を作って楽しもう	16
④	八女徐福会	舞台から八女の徐福文化を発信する —徐福八女長寿茶山踊りと商品開発—	20
⑤	特定非営利活動法人 山村塾	八女茶山おどりプロジェクト	24
⑥	郡役所シネマスイッチ	郡役所まつり 八女を楽しく知ろう！ 第2回「コマまわしシロウ」展	29
⑦	八女上陽の「ひふみよ橋」 を守る会	洗玉橋（1連石橋）架設130年記念事業	33
⑧	福岡県立八女農業高等 学校	八女農高ウェルビーイング事業 「ホリデーハッピースクール」	38
⑨	ローカルダイアログでまち づくり委員会「あとおし」	ローカルダイアログを活用したまちづくり プロジェクト	46
⑩	一般社団法人 八女青年会議所	もくもくわくわく大作戦 in 八女杉 ～思いを一つにツリーDパズル～	55

幸せねこ プロジェクト

おちゃねこ八女



1.団体について

○設立目的

八女市を中心に保護猫・地域猫活動を行うことで、地域と人と動物(猫)が仲良く上手に暮らせる社会作りを目的とする。

○団体構成員数 10名



(おちゃねこ八女)

1.団体について

○これまでの活動実績

・TNR活動

野良猫の避妊去勢手術

・保護猫の里親探し

定期的な譲渡会の開催

SNSを活用した情報発信

・チャリティーグッズの販売

おちゃねこ八女オリジナルTシャツ・お茶の販売



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
4月～3月	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	池田モータース
4月～3月	TNR活動	八女市内各所
5月3日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	えこびと
6月30日 7月1日、2日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	鹿田産業
8月11日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	土橋市場
9月13日	チャリティーグッズ販売会	つながるバス停
10月14日、15日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	オートプロニーズ

※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
10月29日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	旧八女郡役所
11月12日	ペット供養祭・譲渡会	開運寺
11月17日～19日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	鹿田産業
12月20日	活動報告・チャリティーグッズ販売会	おりなす八女
1月28日	マルシェ開催	八女市文化会館
2月5日、6日	市内における多頭飼育崩壊宅の一斉清掃	—
3月17日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	大木町道の駅

※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
3月31日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	ゆめタウン八女

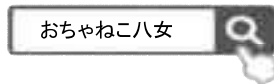
※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○インターネットによる情報発信

各種SNSを利用して、おちゃねこ八女の活動、里親募集中の猫の情報などを日々発信しています。



★アメブロ「おちゃねこ八女」譲渡会・チャリティーグッズ販売会
<https://ameblo.jp/ochaneko-yame/>

★Instagram「@ochaneko.yame」

★YouTube「おちゃねこ八女」
<https://www.youtube.com/channel/UCSMMRZCItA5ozMXM5-YuPRQ>

★Facebook「おちゃねこ八女」
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100079901313414>



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

12月25日に「NPO法人てろん」設立。

法人名はてろんですが、活動は今まで通り【おちゃねこ八女】の名前でイベント・譲渡会などの活動を行います。

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○譲渡会

池田モータース(八女市室岡282-6)
にて毎月開催
本年度は20回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売

参加者:各回 約30組、従事者:各回 約15名



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○譲渡会

イベントに参加しての譲渡会開催
(土橋市場・堺屋・開運寺など)
本年度は32回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売

参加者:各回 約20組、
従事者:各回 約10名



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

TNR活動とは「トラップ・ニューター・リターン」の頭文字をとったもので、「捕獲して手術をしたのち、元居た場所に戻す」活動のことを言います。

Trap → Neuter → Return



罠を使い
捕獲



避妊去勢
手術



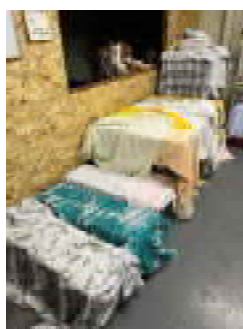
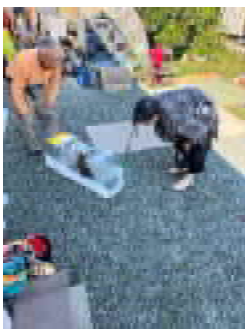
元の居場所
へ戻す

(おちゃねこ八女)

2.活動内容 TNR活動



捕獲器をしかけます。
猫の活動時間の夜中に
捕獲することもあります。



体調の変化や、
脱走防止に気を付けながら、
お世話します。

(おちゃねこ八女)

3.活動の成果

・譲渡会の開催

外で保護した猫たちをおうちの猫として飼っていただくため、八女市内外において32回の譲渡会を行い、179頭もの猫たちが新しい家族と出会うことができました。

・TNR活動

地域の野良猫を捕獲し、避妊去勢手術を受けさせたうえで元いた場所に返す、というTNR(Trap Neuter Return)を中心に活動を行ってきました。

公益財団法人どうぶつ基金による「さくらねこ無料不妊手術チケット」に八女市行政枠として申請していただき市内の飼い主のいない猫の不妊去勢手術を行うことができました。

その他、個人の相談者様からの依頼による個人負担または団体負担でのTNRも数多く行っております。

このことにより、外で生きる中で命を落としてしまう猫たちを減らすことができたのはもちろん、地域のもめごとの原因となってしまった方、あるいは多頭飼育崩壊に陥って助けを求めておられた方、そういった市民の皆さんの生活・環境、また心身の健康面での改善にお役に立てたのではないかと思います。

(おちゃねこ八女)

3.活動の成果

・他団体との連携

北海道で活動されている「NPO法人 猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道」様に、八女市で保護した猫たちのうち、譲渡になかなかつながらない猫たちを受け入れていただき、北海道で新しい家族と繋いでいただく事が出来ました。6月、9月、12月、2月、3月に北海道へ空輸し実施していただきました。



ツキネコ代表と
おちゃねこメンバー
による勉強会の様子



(おちゃねこ八女)

3.活動の課題

- ・TNRについて

TNRという活動に関して、地域の方に周知がなされていない。もっと市民の皆さんにこの活動を知っていただきたい。

八女市は活動範囲が広く、時間・経費(ガソリン代等)の負担が大きい。

- ・保護活動について

野良猫の保護(主に子ネコ)の依頼が多く、それに伴う保護施設、えさ代、医療費の団体負担が大きすぎる。

平日に保護猫のお世話が出来るボランティアが少ない。

(おちゃねこ八女)

3.今後に向けて

- ・譲渡会の開催・TNRについて、より市民の皆さんに知っていただくために、チラシの作成を行い、市内のスーパーや公共施設等への掲示依頼を行う。

- ・正しい猫の飼い方や、避妊去勢手術の重要性を知っていただくために、学校やお祭り行事などでの動物愛護啓発活動を行う。

- ・学生ボランティアの受け入れ等も行い、活動できるボランティアの数を増やす。

- ・クラウドファンディング等を利用した資金の調達を目指す。それにより継続的な活動を行える環境を整える。

(おちゃねこ八女)

ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト

～ ミニバラ八女津媛の会 ～



ミニバラ八女津媛の会について

● 設立目的

八女の地名の起こりは、日本書紀に出て来る『八女津媛』。その名前がついた世界登録された日本オリジナルの花『八女津姫(ヤメツヒメ)』をより多くの方に知ってもらうため、八女に咲かせて町づくりをしたいと会を結成した。

● 団体構成員数 19名 及び

八女農業高校システム園芸科草花専攻の学生・先生

● 設立年月日 令和3年4月1日

(ミニバラ八女津媛の会)



わたしたちの活動のきっかけ

2018年 NHK「趣味の園芸」でミニバラ「八女津姫」が紹介され、「ヤメツヒメ」と名付けられた花があることを知る。

1961年作出（伊丹バラ園）作出者辺春佳四郎
八女市のために生み出された花なのでは・・・？

ぜひこのバラを八女市内に広めたいと考え、友人にプレゼントしたり、旧八女郡役所（2020年4月）・八女津媛神社（2020年5月）に植栽。年間を通して手入れするようになった。

（ミニバラ八女津媛の会）

3



ミニバラ「八女津姫」プロフィール

作出国	日本
作出年	1961年【伊丹バラ園】
作出者	辺春佳四郎（へばるけいしろう）
ローマ字	YAMETSUHIME
系統	ミニチュア
花色	ピンク、ホワイト、ローズピンク
香径	微香
咲き方	四季咲き
成長形態	木立性
樹高	20cm
交配	TomThumbX実生（seedling）
別名	「レンゲローズ」

花言葉
特別の功績 いつみても優美



貝殻を重ねたような、小輪半八重咲き

（ミニバラ八女津媛の会）

4



令和5年度の植栽活動 1



八女津媛神社

4月16日

参加者 15名

苗 30ポット

花修景園芸家 毛利晶子氏



八女市社会福祉協議会立花

4月19日

参加者 4名

苗 10ポット



旧大内邸

5月17日

参加者 7名

苗 15ポット

(ミニバラ八女津媛の会) 5



令和5年度の植栽活動 2



八女社会福祉協議会

10月4日 参加者4名

苗 20ポット



郡役所

7月19日 参加者4名

草取り、手入れ

*伝統工芸館、
矢部村図書館、
共生の森、
観光案内所に
植栽、草取り、手入れ

(ミニバラ八女津媛の会) 6

年間通しての手入れ

花柄摘み、水やり、肥料、土入れ、株の切り戻し、さし芽、草取り など



草取り作業
【旧大内邸】



寒さよけの為、藁をかぶせた
【八女津媛神社】



日当たりがいいのでよく咲きます
2020年植栽
【旧八女郡役所】(撮影5月)

(ミニバラ八女津媛の会) 7

毛利先生の講話

植栽ボランティアを募集しての花壇づくりでは、講師を招き
「園芸についての講話」・「植栽のアドバイス」をしていただきました。



講師 花修景園芸家
毛利 晶子 氏
モットーは『安・楽・長』



八女津媛神社
4月16日、10月22日
参加者30名



(ミニバラ八女津媛の会)

8



八女農業高校との連携

八女農業高校 システム園芸科 草花専攻の学生さんが挿し芽をして繁殖に成功



繁殖されたミニバラ八女津姫
苗づくりについて語る先生



繁殖したつぼみ



(ミニバラ八女津媛の会)

9



活動の成果①

- パンフレットやホームページなどの広報活動を通じて問い合わせがあった。
綺麗なバラの写真が好感を得る。
- 八女農業高校で八女津姫の苗の繁殖に協力していただき、繁殖に成功。
その苗をいただいて植栽した。
- 毎月第一金曜日の定例会
状況によっては作業に変えたりした。
- 八女津媛神社のミニバラ
矢部村の方たちが当番で月1回の草取りをされており、ミニバラの花壇まわりもしていただいている。

(ミニバラ八女津媛の会)

10



活動の成果②

- サポート会員の方たち18名が、令和5年度より会員になって頂いた。
会員28名となった。グループラインを開始。参加の出欠も早くわかり便利になった。
- 植栽場所20か所を見守る担当を決めて、月1回パトロールするようになった。花壇を自分たちで管理する方が出てきた。
- ボランティア募集にホームページ、広報ハ女、FMハ女を活用した。ラジオを聞かれた長崎在住で矢部村出身の方から、感動のお電話があり、矢部の同級生、親せきへ「ミニバラハ女津姫」の活動を伝えて下さった。

(ミニバラハ女津媛の会) 11



活動の課題

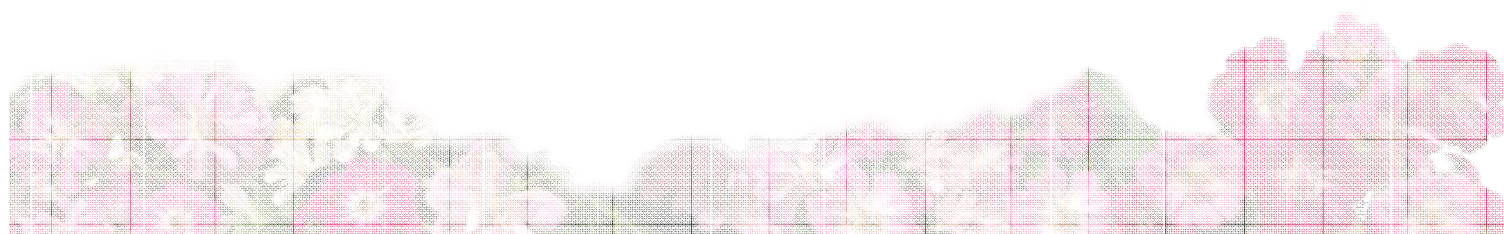
- 日頃の手入れと管理
植栽場所の責任者に、花の状況報告をしてもらう
- 植栽ボランティアの方々とのつながりを密にする
- ミニバラハ女津姫の作出者である辺春佳四郎氏についての研究を続ける

(ミニバラハ女津媛の会) 12



今後において

- どの花壇も手入れを充実させ、花を多く咲かせ人々の癒しの場所にしたい。
- ミニバラ八女津姫が、八女市の花として、愛される花になりますように。



八女の土で器を作って楽しむ

資源を活かして原料から作ってみる会

資源を活かして原料から作ってみる会

1. 団体の概要

○設立の目的

モノのあり方を再構築し原材料から完成までの流れを実体験することにより、これからの社会でのモノづくりについてまたその作ったモノを活かす方法について考察し提案していくことを目的とします。

○これまでの実績

「八女の土で器を作ってみよう」という事業で、原料を入手するところから器を焼いてお茶会の茶碗として使うというプログラムを3年間行いました。

○団体の構成員 5名

○設立年月日 2020 年 4月 1日

資源を活かして原料から作ってみる会

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

縄文時代から続いている八女の地での営みを、「八女の資源のみでモノづくりを完結できる」ということを、広く認知してもらうことを目標とします。

○活動の概要(どういったことをするか)

八女で自然から収穫した材料により器を焼き、自作の器で八女茶を楽しみます。

資源を活かして原料から作ってみる会

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
2024.02.03	八女の粘土を掘る	八女市上陽町	6人
2024.02.04	粘土づくり・器づくり	八女市上陽町	6人
2024.02.17	窯づくり	八女市上陽町	6人
2024.02.18	窯たき	八女市上陽町	6人
2024.03.10	お茶会	まる舎茶房	26人

資源を活かして原料から作ってみる会

○活動の様子



土堀り



粘土にする



窯をつくる



器をつくる



窯たき



八女古典茶話

資源を活かして原料から作ってみる会

3. 活動の成果

○土を掘って器を作るWSは、参加費が高額なためか、参加者が一人しかあつまりませんでした。

その為、最後のお茶会の参加費を予定の3,000円から3,500円にして、全体の予算の調整をしました。

○最後のお茶会は、定員いっぱいの20名の参加者を集めることができました。

○八女茶だけではなく、黒木町にある平安時代の窯跡や焼物についても、参加者と一緒に学びあうことが出来ました。

○講師お二人をお迎えして開催したお茶会は2時間ほどの動画を記録しました。

○お茶と焼物と八女の歴史を、学ぶことが出来る記録になったと思います。

○八女の景色を別に撮影して、30分程の動画にまとめられたらいいなと考えています。

資源を活かして原料から作ってみる会

4. 今後に向けて

○より多くの方々に認知してもらうには、モノづくりの工程より、まずは活動を知ってもらうことが大切だということに気が付きました。

○今後はお茶会に講師をお招きして、八女の文化や歴史と共に、モノづくりの面白さや可能性について学ぶ時間を作っていきたいと思います。

○お茶会を「八女古典茶話」と名付けて、八女の文化や歴史に詳しい講師に方をお招きして、お話を聞きながらお茶をのむ時間を企画したいと思います。

○またそのお話の内容を動画に記録して、ネットで発表できるように記録しておきたいと思います。

資源を活かして原料から作ってみる会

令和5年度市民との協働によるまちづくり提案事業



八女徐福会

川崎・忠見小学校 徐福を知る授業
2023.12.5/12.15

(1) 事業経過と成果

令和5年度は引き続きコロナ感染拡大防止のため、国内外において事業の中止や延期が相次ぎましたが、年度中頃より活動の制限が緩和される中で、積極的に徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指し事業を行いました。

(徐福文化交流事業)

9月中国連雲港市で徐福フォーラムが開催され、八女徐福会にも招請がありましたが、査証の取得が困難であったため不参加となりました。韓国とはコロナ前の水準に戻り交流を実施することができました。八女徐福まつりは当初10月下旬開催される川崎よかまつりのブースとして実施予定でしたが、コロナのため中止となり単独で事業を実施しました。

令和5年

5月10日	日本徐福協会総会(郵送による総会)
9月11－12日	韓国咸陽徐福フォーラム、佐賀県徐福会、咸陽徐福会姉妹研究会締結式 参加。(韓国咸陽郡郡庁)
9月12－13日	韓国巨済徐福会との交流会(韓国巨済市)
12月9日	九州徐福文化フォーラムIN筑紫野(筑紫野市歴史博物館)
12月10日	八女徐福まつり・徐福講演会(山内集会所)



韓国咸陽徐福シンポジウム咸陽郡庁関係者
(咸陽郡庁前) 2023.9.11



韓国咸陽徐福シンポジウム・佐賀咸陽徐福研
究会姉妹締結式(咸陽郡庁会議室) 2023.9.11



九州徐福文化フォーラムin筑紫野(筑紫野市歴史博
物館) 2023.12.9



八女徐福まつり・徐福講演会(山内集会所)
2023.12.10



八女徐福まつり 韓国民族服
チマチョゴリ試着コーナー

八女徐福まつり 全国徐福文
化伝承地紹介パネル展



(徐福普及活動)

コロナ感染拡大防止のためイベントの中止、施設等訪問禁止のため活動が限られました。

令和5年

5月27日 八女徐福会総会・研修会(山内集会所)

12月5日川崎・忠見小学校「徐福を知る授業」合同学習会(川崎小学校)

12月15日川崎・忠見小学校「徐福を知る授業」合同学習会(川崎小学校)

令和6年

1月20日「童男山ふすべ」川崎・忠見小学校合同開催(降雨のため山内集会所)



川崎・忠見小学校徐福を知る授業

2023.12.5/12



童男山ふすべ(山内集会所) 2024.1.20

(徐福商品開発事業)

令和5年

12月 八女徐福長寿ぜんざい、八女・佐賀・新宮徐福長寿茶飲みくらべ

(特記事項)

日本徐福協会を通じて日本全国の徐福伝承地と交流を深め、さらに中国、韓国の徐福団体との交流を深めています。特に、九州地区(福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)の徐福団体とは九州徐福文化フォーラムを持ち回りで共同開催など事業を進めています。

海外との交流はコロナの鎮静化により、中国、韓国との渡航制限が緩和され、各国でのシンポジウムやセミナーが再開されましたが、中国への渡航制限が厳しく中国での参加は限定的になりました。韓国では渡航制限解除がされたため、9月11日、12日開催の咸陽徐福会セミナー、締結式に八女徐福会から4名参加しました。八女徐福座の公演も高齢者のあつまり、施設等での活動が中断していますが日頃より練習を重ねています。

徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指しては、中・韓・日の3カ国の徐福団体とオンラインやメールを通じて交流を継続し協力して活動を行っています。

このような中で、川崎・忠見小学校児童の「徐福を知る」合同授業をはじめ、イベント参加者、童男山ふすべ、八女オルレコース遊歩参加者にパンフレットや徐福タオル、キーホルダーの配布を行いました。また、八女徐福長寿茶、飴の販売を行い、八女の徐福文化の発信を行いました。



八女徐福まつり 徐福長寿ぜんざい試食



八女徐福まつり 全国徐福長寿茶飲み
比べコーナー



徐福キーホルダー



八女茶発祥
600年記念
アート事業

八女茶山おどりプロジェクト

認定NPO法人山村塾



こめづくり もりづくり ひとづくり

@福岡県八女市黒木町笠原

都市と農山村の住民と一緒に
農作業や山仕事を楽しみ、山村の自然を守る

- 1994年4月1日 2軒の農家を中心に発足
- 2014年 NPO法人格取得
- 2017年 特例認定NPO法人
- 2020年 認定NPO法人

※NPO会員126名（正38名＋賛助88名）、
活動コース会員67家族、棚田米サポーター79名



活動の内容

目的

八女茶発祥の地として八女茶文化を育んできた笠原地区を拠点に、「八女茶山おどり」の推進を行い、それらを通じて美しい農山村景観の保全とそれを支える農林業と農山村地域の持続可能な暮らしについて考える。

計画

推進会議 3 回：八女茶山唄・八女茶山おどり普及、600年記念事業

体験会 1 回：踊り手育成、唄とおどりの普及

発表会 1 回：八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の体験、意見交換



実施概要

	日程	活動内容	活動場所	参加者数
八女茶山おどり 推進会議	5/5 (金)	八女茶発祥600年記念アート 事業について	えがおの森	3名
	7/7 (金)		オンライン	3名
	3/9 (土)		旧八女郡役所	5名
八女茶山おどり 座談会	3/9 (土)	八女茶山おどりについてのトーク を収録しYouTube配信	旧八女郡役所 (YouTube配信)	77回視聴 (6/3時点)
八女茶山唄 & おどり発表会	9/23 (金祝)	闘茶会をアレンジした座談会と八 女茶山唄・おどりの体験発表会	えがおの森	58名



①八女茶山おどり推進会議（3回）

八女茶山唄・八女茶山おどりの普及を通じ、これからの茶文化・農村文化を考えた。
八女茶発祥600年記念アート事業として、八女茶山にまつわる関連事業を計画した。



参加者

馬場美雅（八女市観光大使）
武田力（演出家・八女茶山おどり制作者）
長津結一郎（九州大学大学院芸術工学
研究院准教授）
NPO法人山村塾スタッフ



動画リンクQRコード
<https://youtu.be/mzxCLVP9RkU>

②八女茶山おどり座談会（YouTube配信）

2024年3月9日（土）@旧八女郡役所

出演 武田力（演出家、民俗芸能アーカイバー、八女茶山おどり 振付）

馬場美雅（八女市観光大使、八女茶PR大使）

高橋康太郎（特定非営利活動法人八女空き家再生スイッチ理事長、朝日屋酒店店主）

「これまでの八女茶山おどり」、
「これからの茶山おどり」について
語り合っていました。





③唄って踊って味わう 八女茶山 ～これまでの600年、 これからの600年～

9/18（月祝）@えがの森

600年を味わう闘茶会

登壇者：松尾章三郎氏（茶生産者）

城昌史氏（茶生産者）

徳永慎太郎氏（茶生産者）

唄解説：馬場美雅（八女市観光大使）

八女茶指導：松尾瑞紀

（日本茶インストラクター）

3名の茶生産者がお茶づくりを語る。そのお茶を味わうひと時

そして踊りと唄も味わいました



④その他（八女茶発祥600年記念アート事業として）

あちこちに登場・参加しました。



5/3 里山ミニワーク「お茶摘み」



10/26 黒木小3年生体験ワークショップ
→授業風景を記録し、小学校に提供



11/12 山村塾「収穫祭」



11/19 第36回笠原まつり「だっでん祭」



事業の成果

・「八女茶山唄」・「八女茶山おどり」の紹介や体験を通じて、美しい農山村景観がどのように創られてきたのか、様々な人たちと想像する機会を得た。

- ・八女茶発祥600年をテーマにしたワークショップや座談会を実施。
- ・推進会議3回、座談会YouTube視聴77名、発表会に58名の参加
- ・このほか

八女茶発祥600年祭実行委員会や関連組織と連携

八女茶発祥600年の機運を高めるべく各イベント参加や地元小学校への出前ワークショップ



八女茶発祥601年も事業継続→602年も楽しみです！



第2回 郡役所まつり 「コマまわしシロウ」展

団体名 郡役所シネマスイッチ

郡役所シネマスイッチ

1. 団体の概要

○設立の目的・・・旧八女郡役所で、記録映画を中心に映画、本、音楽をとおして地域の人が集い文化的な交流を生み出す時間と場を作る。

○これまでの実績・・・2013年より民族文化映像研究所が昭和40年代から制作している記録映画を見る集まり「八女民映研をみる会」として活動を開始し、民族文化映像研究所の作品上映会を不定期で開催してきた。

その会を母体として2017年の7月から旧八女郡役所内でごく小規模な映画上映を繰り返している。2017年9月は郡役所の大きなホールで映画を上映。2018年に提案事業「フォト&フィルム アーカイブ -まちの記録と上映会-」を開催。その後も映画や音楽、本などの集まりを開催。

○団体の構成員 8名

○設立年月日 2016年7月1日

郡役所シネマスイッチ

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女地方の地域資源であり自然素材から作られる「独楽」「和紙」「櫛ロウ」を、明治30年代に八女郡是が作成された現場でもある旧八女郡役所を会場に、地元の美術作家や工芸作家、生産者らとともに行うアート作品によるインスタレーション・ワークショップ・マルシェをとおして五感で感じ、それについて考える楽しい時間と場を作り出すこと、そしてその素材としての可能性を再評価すること。

郡役所シネマスイッチ

2. 活動の内容

○活動の概要

牛島智子「コマまわしシロウ」展

…「和紙」をテーマにしたインスタレーション

吉田知弘 映画のポスター展「人形劇がいっぱい」

…昔の映画のポスターを展示

映画「かの山」上映会 & 山下つぼみ監督トーク

…ヴェネチア国際映画祭オリゾンティ部門ノミネート作品、映画「かの山」上映及び山下つぼみ氏(監督)による作品と影響を受けた映画のについてのレクチャートーク。

郡役所マーケット

…旧八女郡で地域に根ざした活動や制作、販売をしている元地域おこし協力隊の若い人達を中心に声をかけ加工品などの販売を開催。燈籠人形期間中のため多数の来場があった。

郡役所シネマスイッチ

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
9/1-30	牛島智子「コマまわしシロウ」展	旧八女郡役所	多数
9/1-30	吉田知弘 映画のポスター展	旧八女郡役所	多数
9/11	映画「かの山」上映会 & トークイベント	旧八女郡役所	18名
9/23-24	郡役所マーケット	旧八女郡役所	多数
1/8-28	吉田知弘 アニメ映画のポスター展	旧八女郡役所	多数

郡役所シネマスイッチ



ポスター展「人形劇がいっぱい」



コマまわしシロウ展



「かの山」上映会



郡役所マーケット



オープン三軒長屋



チラシ

3. 活動の成果

- 和紙を使ったインスタレーションによる素材の紹介
- 参加者や来場者がインスピレーションを得て、その後にイベントを開催「茶と間」「ダンス・イン・グンヤクショ」
- 同時期に開催された空き家を活用した写真展とカフェや土橋市場でのライブとの連携で八女福島の面白さや空き家を活用することの面白さを参加者と共有
- 国際的な映画祭で一定の評価を得た若手映画監督を招き、作品の背後にあるものに触れる貴重な場と時間

郡役所シネマスイッチ

4. 今後に向けて

- 今後も旧八女郡役所を拠点に個人レベルの小さな活動を結びつけるような、そしてそれが地域内外のつながりに広がるような活動をしていきたい

郡役所シネマスイッチ

洗玉橋(1連石橋)架設130年記念事業



八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

1. 団体の概要

○設立の目的

本会は、八女市上陽町のひふみよ橋及びその文化の価値を大切にし、守ることを目的とする。

○これまでの実績

- ・H24.9.18 設立総会（会員数109人）
- ・H24.9.19 「ひふみよ橋」の保全を求める陳情書提出
- ・H25.6.30 上陽の里山風景についての講演会
- ・H27.5.16 日本の石橋を守る会・上陽町大会
- ・H27.12.16 八女上陽のシンボル「ひふみよ橋」の市文化財指定と保全を求める要望書提出
- ・H28.2.29 「洗玉橋」の除草作業
※以後年に1～2回程度実施（H29.2.18 H29.7.29 H30.5.21 R1.8.17 R2.2.25 8.1 R3.2.26）
- ・H30.3.3 大瀬橋架設100年記念特別企画実施
- ・R2.2.28 寄口橋架設100年記念特別企画実施
- ・R4.10.23 宮ヶ原橋架設130年記念特別企画実施
- ・R5.1.21 「星野川災害復旧助成事業 宮ヶ原工区」土木学会デザイン賞2022優秀賞受賞

○団体の構成員 58 名（※A会員）

○設立年月日 平成24 年 9 月 18 日



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女市上陽町の石橋群は九州北部豪雨災害にも耐え、強さと美しさを兼ね備えた素晴らしい文化遺産です。令和5年度に洗玉橋が架設から130年を迎えるのを契機に長年お世話になり住民生活に欠かせない石橋群に感謝の気持ちを込めて記念事業に取り組みました。

○活動の概要(どういったことをするか)

- ・石橋清掃活動
- ・石の文化に学ぼう
- ・「祝 洗玉橋130年記念」横断幕設置
- ・洗玉橋架設130年記念・特別企画
- ・洗玉橋架設事件留印刷
- ・石橋PR活動



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

2. 活動の内容 ○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
10～3月	石橋清掃活動 計3回10/12・12/4・3/11	洗玉橋・宮ヶ原橋	合計26人
7～3月	石の文化に学ぼう！ 計3回 8/21・11/7・2/17	ほたと石橋の館 旧川口邸周辺	合計69人
8～12月	祝 洗玉橋130年記念横断幕設置	洗玉橋	10人
10月21日	洗玉橋架設130年記念・特別企画 130年記念橋渡し・和太鼓演奏 エコバルーンを飛ばそう！ 記念講演	洗玉橋 農業活性化センター	100人
2～3月	洗玉橋架設事件留印刷製本	旧川口邸	
4月～3月	石橋PR活動 計3回 4/1・10/15・3/13	ほたと石橋の館 とその周辺	合計41人

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子「石橋清掃活動」 洗玉橋・・・10月12日(木)・3月11日(月)
宮ヶ原橋・・・12月4日(月)



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子 「石の文化に学ぼう！」

八女市スーパースクール
石橋説明
8月21日(月)



上陽北浜学園5学年
総合学習指導
11月17日(金)



上陽お宝発見ゲーム
2月17日(土)



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子「洗玉原橋架設130年記念・特別企画」

10月21日(土)



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子「石橋PR活動」

星野川でカヌー体験 4月1日(土)・10月15日(日)

「ひふみよ橋だより」発行



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

3. 活動の成果と課題

<成果>

○洗玉橋架設130年記念事業は、普段、なかなか光が当てられない「石橋」に光を当て、皆で一緒にお祝いすることで、町内外の人々に改めて石橋の文化的価値をご理解いただくだけでなく、皆で石橋を未来へ遺していこうという想いを共有する良いきっかけとなった。

<課題>

○これまで拠点としてきたほとと石橋の館がリニューアル後は拠点として使用できない為、今までのように活発な取り組みはどうしてもできなくなる。せっかくこれまで活動が続けてきて、日本の石橋を守る会など、つながりもあるので、今後の活動についてこれから検討し、できることをやっていきたい。

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

4. 今後に向けて

寄口橋、大瀬橋、宮ヶ原橋が、令和5年度8月7日付で、国登録有形文化財に登録されたり、NHKの番組が、八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会の取り組みを取り上げてくれるなど、令和5年度は本会員の皆が努力した活動が報われた年となりました。これをきっかけに、今後も地域の宝である石橋群を活かした地域活性化に、八女市役所上陽支所、上陽地区まちづくり協議会、観光協会などの関係機関と連携を図りながら、活動していきたいです。

令和11年(2029年)に栗林橋が100歳を迎えるので、また皆でお祝いする為に、栗林橋について調査し、当時の写真など、収集していきたいです。

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

「ホリデーハッピースクール」

農業高校から考える、 幸せなまちづくり



目次

活動目的

活動内容

活動の成果

今後の展望

活動目的

本校生徒が身につけた知識・技術をもとに、農業を通して環境やワンヘルス教育およびSDG's等について理解を深める体験的プログラムを実施することで、八女地域の市民の皆さまと「これからのまちづくり」を考える機会にする。



生産技術科



システム園芸科



動物ペット科



食品開発科

活動内容

活動時期	活動内容	活動場所	参加者
6/3 (土)	八女農お茶クッキー製造体験	本校・食品加工室	参加者15名
6/17 (土)	北山農場へようこそ！モモの収穫とジャム作り体験	北山農場	参加者42名
9/9 (土)	ウサギ・モルモットや小鳥とのふれあい体験とワンヘルスについて	北山農場	参加者44名
10/14 (土)	サラブレッドの乗馬とポニー・ヒツジ・ヤギ・イヌとのふれあい体験	北山農場	参加者52名
11/11 (土)	サツマイモ収穫体験・いも豚汁の試食	本校・花宗農場	参加者26名
12/2 (土)	クリスマスに向けて。寄せ植え体験	本校・花宗農場	参加者18名
12/9 (土)	親子で調理！「郷土料理に挑戦！」	本校・調理室	参加者13名
12/16 (土)	八女農北山茶園・奥深いお茶の世界へようこそ！闘茶・新米の試食	北山農場	参加者6名

講座①八女農お茶クッキー製造体験

本校で大人気のお茶クッキーの製造体験を親子と生徒で行った

- 実施日：6月3日（土）
- 実施場所：食品製造室
- 参加者：15名
- 生徒：食品加工専攻生



上手に混ぜれてるかな？



講座②桃の収穫とジャムづくり体験

旬を迎えたモモの収穫体験を行った

- 実施日：6月17日（土）
- 実施場所：北山農場果樹園
- 参加者：42名
- 生徒：果樹専攻生



モモを傷つけないように



講座③ウサギ・モルモットや小鳥とのふれあい体験

ウサギ・モルモットと触れ合う
ことで、心の安らぎを提供

- 実施日：9月9日（土）
- 実施場所：北山農場
- 参加者：44名
- 生徒：社会動物専攻生



優しくなでてね



講座④ポニー・ヒツジ・ヤギ・イヌとのふれあい体験

ポニーの乗馬、イヌとのふれあい、
ウシの心音測定など様々な
体験を行った

- 実施日：10月14日（土）
- 実施場所：北山農場
- 参加者：52名
- 生徒：産業動物専攻生



ウシさんの
心臓の音が
聞こえる！



なんだメ〜



講座⑤ サツマイモ収穫体験、イモ豚汁の試食

親子でサツマイモの収穫体験、
イモ豚汁の試食を行った

- 実施日：11月11日（土）
- 実施場所：花宗農場
- 参加者：26名
- 生徒：野菜専攻生



豚汁美味しい！



講座⑥ クリスマスに向けて、寄せ植え体験

パンジーやビオラなど冬の草花
を使用して寄せ植えを行った

- 実施日：12月2日（土）
- 実施場所：花宗農場
- 参加者：18名
- 生徒：草花専攻生



飾りをいっぱい
つけて完成



講座⑦親子で調理！「郷土料理に挑戦！」

テーブルサートを活用して子どもたちに分かりやすく郷土料理について説明しました。

- 実施日：12月9日（土）
- 実施場所：本校・調理室
- 参加者：13名
- 生徒：食育専攻生



**講座⑧八女農北山茶園・奥深いお茶の世界へようこそ！
闘茶・新米の試食**

お茶の品種当てゲームを通して、お茶の淹れ方や味の違いについて体験を行った

- 実施日：12月16日（土）
- 実施場所：北山農場・茶工場
- 参加者：6名
- 生徒：茶・作物専攻生



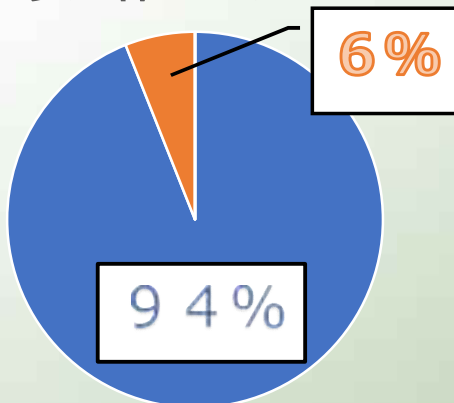
活動の成果

講座8回実施

参加者延べ216名

参加者が30名を超えた講座は
保護者（同伴者）は見学としています。

参加者アンケート



参加者からの声

手取り足取り教えていただき小学生でも楽しくきれいに作ることができた

高校生達の頑張る姿にいつも癒やされています

色んな動物と近くで触れ合えて楽しかった

親子で楽しく参加できたし、食育にもつながってよかった

生徒の感想

今年度が初めてで最初は人も集まらず不安と焦りでいっぱいでした

講座では親子での参加が多く、講座中は親子で笑顔で作業をするなど楽しく活動することができた

地域の子どもたちや高齢の方、後輩などと交流し、八女の農業や八女農の良さを発信することができた

私自身もこの講座で新たな学びを得ることができ、農業の魅力に改めて気付くことができた

今後の展望

参加者からの要望

企画を知らない方ばかりだったので、周知の方法を検討されるといいと思った

待機時間に品種などの説明が欲しかった

子どもには机の高さが高すぎて、作業がしにくい

たくさん企画してほしい

来年も楽しみにしています

①運営組織の見直し

- 運営委員の増やす
- 運営方法の検討（講座の周知など）
- 運営委員会と講座担当者との連携強化

②企画の見直し

- 学校の強みを生かした講座
- 子どもから大人まで交流
- 交流事業の継続

幸せのまちづくり

ローカルダイアログを活用したまちづくりプロジェクト

ローカルダイアログでまちづくり委員会あとし

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとし)

1. 団体の概要

○ 設立の目的

「まちづくりに関わる人を増やし、みんなでまちづくりする」という思いの元に設立。地域づくりの活動に興味があるものの「やりたいがどうしてもわからない」「一人ではできない。仲間が欲しい」という踏み出したいもう一歩を、当団体は「あとし」し、共にまちづくりをしていきます。

○ これまでの実績

6回のローカルダイアログワークショップ実施(のべ34名の市民が参加)

→ 自分たちの地域の課題、あるべき姿を改めて見つめなおすきっかけに

1回の「八女のミライカイギ」実施

→ うち、複数の案件に関して「あとし」を推進中

○ 団体の構成員 10 名

○ 設立年月日 令和4年 10 月 1 日

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとし)

2. 活動の内容

○ 活動の目的(目標)

- ・ワークショップを通して、まちづくりに関わるきっかけをつくる
- ・「あとおし」するプロジェクトの発見と実際の「あとおし」

○ 活動の概要(どういったことをするか)

- ・ローカルダイアログワークショップの実施
- ・ミライカイギの実施
- ・その他オンラインでのイベント実施
- ・定例会
- ・他団体とのコラボによるYouTubeでの発信
- ・SNSでの発信

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとおし)

2. 活動の内容

○ 活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
6月3日(土)	ローカルダイアログ	おりなす八女研修棟	5名
7月2日(日)	ローカルダイアログ	おりなす八女研修棟	4名
8月6日(日)	ローカルダイアログ	横町町家交流館	5名
9月9日(土)	ローカルダイアログ	旧八女郡役所 キトラ ス	5名
10月22日(日)	ローカルダイアログ＋八女のミライ カイギ	総合体育館 柔剣道場	9名
1月28日(日)	ローカルダイアログ	横町町家交流館	6名

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとおし)

○活動の様子



第1回ワークショップ参加者



ローカルダイアログ



ワークショップの様子



毎回八女茶の差し入れ



第3回ワークショップ参加者



八女のミライカイギ発表

第1回 ローカルダイアログ
日時:2023年6月3日(土) 13:30-15:30
場所:おりなす八女研修棟 第5会議室
参加者:5名

当日の様子

チラシ



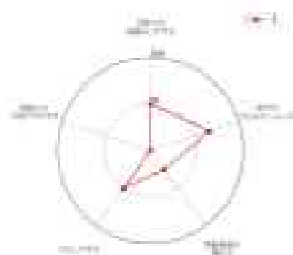
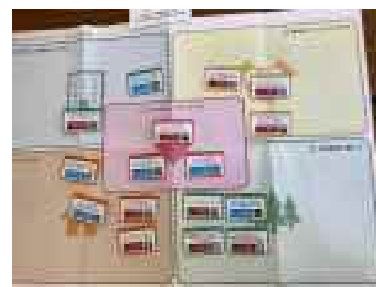
第2回 ローカルダイアログ

日時:2023年7月2日(日) 13:30-15:30

場所:おりなす八女研修棟 第5会議室

参加者:4名(一般参加者が集まらず事業メンバーで実施)

当日の様子



第3回 ローカルダイアログ

日時:2023年8月6日(日) 13:30-15:30

場所:八女市横町町家交流館

参加者:5名

当日の様子



チラシ



第4回 ローカルダイアログ

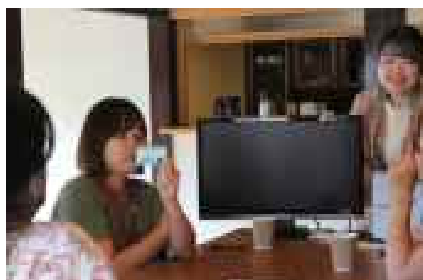
日時: 2023年9月9日(土) 13:30-15:30

場所: 旧八女郡役所 キトラス

参加者: 5名

当日の様子

チラシ



第5回(ローカルダイアログ+八女のミライカイギ)

日時: 2023年10月22日(日) 14:30-18:30

場所: 八女市総合体育館 柔剣道場

参加者: 9名

当日の様子

チラシ



ミライカイギ・プレゼン

- (1) 八女の楽校
- (2) 読まない読書会
- (3) 理不尽体験共有プロジェクト



第6回 ローカルダイアログ
 日時:2023年1月28日(日) 14:00-15:30
 場所:八女市横町町家交流館
 参加者:6名

チラシ



当日の様子

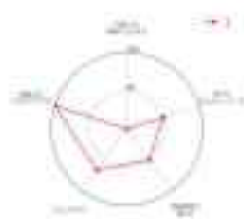


グラフ比較 同じカードで実施しましたが、参加するメンバーによって結果が大きく異なることがわかりました。

第2回 2023年7月2日(日)
 参加者:4名(一般参加者が集まらず
 事業メンバーで実施)



第3回 2023年8月6日(日)
 参加者:5名



第4回 2023年9月9日(土)
 参加者:5名



第5回(ローカルダイアログ+八女
 のミライカイギ)
 日時:2023年10月22日(日)
 参加者:9名



第6回 2023年1月28日(日)
 参加者:6名





・あとおしのメインビジュアルを作成しました
(シールを作成し、裏にSNSのQRコードを張り、SNS
の情報発信を強化しました)

・高校生向けとしてボランティア証明書を発行し、
高校生の参加を促しました。(高校生参加実績1名)

令和5年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

3. 活動の成果

○ 運営会議実施による運営メンバーのメンバーシップ向上

このメンバーならそれぞれの個性や特技を持ち寄りなんでも実現できるといった一体感を醸成することで、各種イベントの実施推進した。

○ 市民参加による「まちづくり」のきっかけ

全6回のローカルダイアログワークショップ実施を通じて、まちの特性を踏まえたうえでのまちづくりを考えていくきっかけづくりを行うことができた。

特別回として開催した「八女のミライカイギ」では、市民から、次の3つの新たなまちづくり活動のアイデアが提案された。

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとし)

3. 活動の成果

○まちづくりの活動のアイデア

(1)八女の楽校

(2)読まない読書会

(3)理不尽体験共有プロジェクト

○「あとおし」活動

(1)八女の楽校

→イベント運営のサポートやコラボ

(2)読まない読書会

(3)理不尽体験共有プロジェクト

→イベント運営サポート

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとおし)

4. 今後に向けて

○ ローカルダイアログなどのワークショップ、ミライカイギの開催

本プロジェクトの主軸的活動である「ローカルダイアログ」「ミライカイギ」などのワークショップを引き続き開催し、街の特性を理解するとともに理想の姿を共有できる仲間づくり、まちづくりのきっかけづくりを推進します。

○ ホームページの開設

本プロジェクトの活動目的や成果など、詳細について、ホームページ等で分かりやすく説明し、今後の活動の活性化につなげます。

○「あとおし」メンバーの拡大

「あとおし」の活動に賛同していただけるメンバーを募集し、活動人員の強化を図るとともに、次世代の活動を担える後継者を育成します。

→これらの活動をとおして、「生活者によるまちづくり」の循環的發展を形成していきます。

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとおし)

4. 今後に向けて

ぜひ、みなさまの団体とのコラボや協働で、まちづくり提案事業での活動をより活発なものにしていきたいです！

みなさまとの情報共有できれば幸いです！！！！

(ローカルダイアログでまちづくり委員会あとし)

Facebook



Instagram



@atooshiyame をフォローお願いします♪





一般社団法人八女青年会議所

一般社団法人八女青年会議所

1. 団体の概要

○設立の目的

地域社会における経済・社会・文化・環境等に関する諸問題を調査 研究し、その正しい発展を図ること

○これまでの実績

- ・竹の祭典 八女の魅力的な資源の有効活用
～ソーシャルディスタンスでそうめんディスタンス～
- ・未来へつなぐスイートコーン
～僕たちを繋ぐモロコシファーム

○団体の構成員 43 名

○設立年月日 1959 年 8 月 8 日

一般社団法人八女青年会議所

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女地域の林業の魅力や現状及び自然災害の原因を一人ひとりが理解し、自然と人々とのバランスを保つために必要な事を八女地域に住み暮らす人々と一緒に学び見つめ直す事で、自然災害の予防や明るいまちづくりに繋げる。また、現在木材の価格が高騰する中で県内一の森林面積をもつ八女地域の特殊な気候で育ったブランド木「八女杉」の魅力を知っていただき、他の木材との違いや八女杉特有の美しい木目や香りを体験する事で、新たなファンを増やし地域活性を目指します。

一般社団法人八女青年会議所

2. 活動の内容

○活動の概要(どういったことをするか)

- ①講演会(自然災害の予防、林業の魅力について)
- ②展示会(防災グッズ、被災時の写真、八女材の家具及び建築材)
- ③木製ランタン作成
- ④巨大ツリーDパズル作成
- ⑤植樹セレモニー(八女杉代表4種)

一般社団法人八女青年会議所

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
6月4日	講演会、展示会	くつろぎの森 グリーンピア八女	従事者39名 参加者54名
6月4日	木製ランタン作成	くつろぎの森 グリーンピア八女	従事者39名 参加者50名
6月4日	巨大ツリーDパズル作成	くつろぎの森 グリーンピア八女	従事者39名 参加者50名
6月4日	植樹セレモニー	くつろぎの森 グリーンピア八女	従事者39名 参加者50名
9月8日	巨大ツリーDパズル撤去	くつろぎの森 グリーンピア八女	従事者39名 参加者0名

一般社団法人八女青年会議所

○活動の様子



講演会



木製ランタン作成



木製ランタン作成



講演会



木製ランタン作成



一般社団法人八女青年会議所

○活動の様子



ツリーDパズル作成



ツリーDパズル完成



ツリーDパズル完成



植樹セレモニー



植樹セレモニー



一般社団法人八女青年会議所

3. 活動の成果

○講演会、展示会

自然の大切さや災害との関係性及び防災、林業の楽しさ、そして木材の魅力や災害の恐ろしさを参加者の皆様にお伝えし再確認していただく事が出来ました。

○木製ランタン作成、巨大ツリーDパズル作成

直接八女杉に触れていただき、香りと美しい木目を体験していただくとともに、八女杉の素晴らしさをアピール出来ました。

○植樹セレモニー

2012年の九州北部豪雨災害を再認識し、全員で今後災害が起こらないように祈願する事が出来ました。

一般社団法人八女青年会議所

4. 今後に向けて

○今回八女地域のブランド木「八女杉」の魅力をアピールするとともに防災についての知識を深めていただく事業を行いました。この想いを一人でも多くの方に伝えるとともに、しっかりとこれからの次世代の方々に伝えていく事が重要です。

事業で植樹した50本の4種類の「八女杉」が成長するように、私たち青年会議所も一緒に成長し、一人でも多く方を巻き込み八女地域をあらゆる方向から活性化へと導くために邁進してまいります。

一般社団法人八女青年会議所



一般社団法人八女青年会議所

茶のくに
八女・奥八女



CHANOKUNI YAME OKUYAME